

ひらの ふざん
常設展示 **平野富山** —清水が生んだ彩色木彫の名匠

於：静岡市清水文化会館マリナート ※写真撮影はご遠慮下さい。

テーマ：平野富山と平野千里

令和6年3月～6月 ※月曜休館

今期は平野富山と平野千里と題し、父・富山の作品と、父と同じく彩色木彫家として活躍する次男・平野千里(1948-)の作品を展示します。まずは富山の作品より《福ねずみ》(no.2)を紹介し、白ねずみは古くから大黒天の使者として福を授けるめでたい動物とされてきました。本作では大黒天の持ち物、打出の小槌に白ねずみが乗った姿で表されています。ねずみの毛並みは繊細な彫りによって表現され、柔らかな質感が伝わってくるようです。小槌には浮彫と纏彩色が随所に施されており、小品ながら富山の卓越した彫技と彩色技術が堪能できる作品です。

千里もまた、父と同様に縁起物をはじめ神仏像も多く手がけています。和歌山・金剛峯寺の作例などが知られる《矜羯羅童子》(こんがらどうじ)《制吨迦童子》(せいたかどうじ)を独自の解釈を交えて表現しています。千里は都内の高校を卒業後、1968年にローマ国立美術学校彫刻科に入学し、イタリア具象彫刻の巨匠ペリクレ・ファツィーニ(1913-1987)教室で彫刻を学び、約20年間を現地で過ごしました。父から直接彩色木彫を学んだのは、富山が他界する直前の半年間余りでしたが、イタリアで身に付けた彫刻技術がその継承を可能にしました。本展ではこのほか、富山の収集品から吉祥文様が描かれた陶磁器類も展示します。あわせてお楽しみください。

【出品リスト】

作家名	作品名	制作年	材質	所蔵
1 平野富山	稚児雛	昭和52～平成元年頃	木、彩色	静岡市
2 平野富山	福ねずみ	昭和52～平成元年頃	木、彩色	静岡市
3 平野富山	光明 <small>※原型は第85回太平洋展出品</small>	平成元年 <small>※FRPは没後制作</small>	FRP	静岡市
4 平野千里	不動明王半跏像	平成7年	木、彩色	静岡市
5 平野千里	矜羯羅童子	平成6年	木、彩色	静岡市
6 平野千里	制吨迦童子		木、彩色	静岡市

■のぞきケース

作品名	制作年代	産地	材質	所蔵
7 青花花唐草文皿	清代後期	徳化窯	磁器	静岡市 /平野富山コレクション
8 染付花卉文蕎麦猪口	江戸中期	有田	磁器	静岡市 /平野富山コレクション
9 青花山水鳥図輪花碗	清代後期	中国南部	磁器	静岡市 /平野富山コレクション